

事務事業チェックシート

事務事業No 147 事業名 **ダイオキシン類対策事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		環境保全費	
	目		環境保全政策費	
	大事業		環境保全対策費	
事項		化学物質対策事業		

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	1	生活環境の保全
基本方針	4	化学物質による汚染の防止

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	ダイオキシン類対策特別措置法		
関連個別計画	和歌山市環境基本計画		
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	東山 雅彦(435-1114)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か)	事業内容				
	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、工場・事業場の監視及び指導を行うとともに、大気、公共用水域、地下水及び土壌のダイオキシン類の常時監視を実施することにより生活環境の保全を図る。	環境中の常時監視として、大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌4地点でダイオキシン類調査を実施する。 工場・事業場の監視として、排出ガス4検体、排水3検体でダイオキシン類調査を実施する。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌5地点でダイオキシン類調査の実施 排出ガス4検体、排水3検体でダイオキシン類調査の実施	大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌5地点でダイオキシン類調査の実施 排出ガス4検体、排水3検体でダイオキシン類調査の実施	大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌5地点でダイオキシン類調査の実施 排出ガス4検体、排水3検体でダイオキシン類調査の実施	大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌4地点でダイオキシン類調査の実施 排出ガス4検体、排水3検体でダイオキシン類調査の実施	大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌4地点でダイオキシン類調査の実施 排出ガス4検体、排水3検体でダイオキシン類調査の実施	大気環境調査5地点(一般環境4地点、発生源周辺1地点)、公共用水域21地点(河川11地点、海域10地点)、地下水4地点、土壌4地点でダイオキシン類調査の実施 排出ガス4検体、排水3検体でダイオキシン類調査の実施

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	5,906	5,774	6,074	6,477	6,107	6,275	6,107		6,107	
伸び率(%)	-	-	2.8%		0.5%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	3,296	3,252	3,159	2,762	2,751	2,762		2,762	
	非常勤職員		121							
	小計	3,417	3,417	3,252	3,159	2,762	2,751	2,762	2,762	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	5,906	5,774	6,074	6,477	6,107	6,275	6,107		6,107	
所要人数	常勤職員		0.43	0.43	0.42	0.33	0.36	0.33	0.33	
	非常勤職員		0.06							
主な予算内訳	検査分析委託料6,075千円									

3 目標及び実績

指標名及び達成状況	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値
活動指標	大気、公共用水域、地下水、土壌の調査地点数		35	35	35	35	35	35	35	35
	単位	地点	全体目標値	35	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
	排出ガス、排水の調査地点数		7	7	7	7	7	7	7	7
	単位	地点	全体目標値	7	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標	環境基準達成率(ダイオキシン類)		100	100	100	100	100	100	100	100
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
	工場・事業場等の規制基準順守率		100	85.7	100	100	100	100	100	100
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	85.7%	年度別達成度	100.0%	85.7%	100.0%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託事務であり、現在の監視測定の地点数で引き続き適正な実態把握に努める
「見直し」 「改善」案	